

(社)日本自動車工業会  
(社)日本自動車車体工業会

## 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

「商用車架装物リサイクルに関する自主取組み」については、第2回産構審・中環審合同会議(2002年11月)にて自主取組み内容を公表し、第5回産構審・中環審合同会議(2003年12月)にて進捗状況を報告した。現在の取組み状況は以下の通り。

### 【概要】

自主取組みの内容	進捗状況
1. リサイクル設計の推進 (1) 易解体性の検討 (2) 解体マニュアル作成 (3) 使用材料名、製造者名の表示 (4) リサイクル困難材の代替材調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷凍バンの易解体性向上に関する走行実用試験、解体実験に着手。</li> <li>・ レントゲン車、冷蔵冷凍車、タンクローリにて優先的に作成。</li> <li>・ 「環境基準適合ラベル」を貼付け。 架装物 102 種類に対して、76,500 枚発行。</li> <li>・ ノンフロン断熱材情報収集。引き続き、調査継続。</li> </ul>
2. 環境負荷物質の使用削減 (1) 鉛削減目標の設定・削減状況 (2) 鉛以外の削減目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2002 年度の台当り平均使用量 60g/台に対して、38g/台 (37%減。2004 年 10 月時点)まで削減。</li> <li>【鉛削減目標】 2006 年度に鉛使用量を 2002 年度比で 1/2 以下に削減。</li> <li>【削減方策】 電着塗装を主体に鉛フリー化を実施する。</li> <li>・ 四輪自動車と同じ削減目標で取り組む。</li> </ul>
3. リサイクル・処理困難な材料のリサイクル・適正処理の推進 (1) 木材 (2) バン型車の保冷・冷凍用断熱材 (3) FRP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力事業者制度により体制を整備。</li> <li>・ 家電リサイクル施設の活用推進。 協力事業者制度への参加要請。</li> <li>・ 処理状況調査継続。</li> </ul>
4. 処理・再資源化協力事業者のネットワーク 協力事業者制度公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 月末に車工会のホームページにて公開。</li> <li>・ 参加事業者の拡充推進。</li> </ul>
5. 情報提供、啓発活動の推進 (1) 自工会の取組み (2) 車工会の取組み (3) 両工業会共同の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディーラー経由で車工会非会員車体メーカーに自主取組みの情報提供、協力要請を実施。</li> <li>・ ホームページにて各種情報提供。 (解体マニュアル、使用材料情報等)</li> <li>・ 取扱説明書への廃棄時の注意事項記載準備。</li> <li>・ 自動車リサイクル法の円滑な立上りのために、架装物判別ガイドラインの発行、架装物チラシの作成・配布。</li> </ul>